



証券コード 9248

人・夢・技術グループ株式会社

日経IR・個人投資家フェア2024 人・夢・技術グループ ブースセミナー資料

2024年8月23日(金)・24日(土)



人・夢・技術

株式会社 長大

Kisojiban



株式会社

長大テック

川風路

effect



PCRW

NICS
Cyber Corporation & Database



1. 人・夢・技術グループについて

2. 長期経営ビジョン2030と中期経営計画「持続成長プラン2025」の
取り組み

3. 2024年9月期第2四半期決算ハイライト・業績推移・業績予想・
株主還元方針

4. サステナビリティ経営

5. 2024年9月期上半期事業トピックス

会社概要

(2023年9月30日時点)

商号	人・夢・技術グループ株式会社 People, Dreams & Technologies Group Co., Ltd.		
創立	2021年10月1日		
本社所在地	〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目20番4号		
代表取締役社長	永治 泰司		
ホームページ	https://www.pdt-g.co.jp/		
資本金	31億750万円	決算期日	9月30日
売上高	398億1,200万円	従業員数	連結：2,036人
上場市場	東証プライム 9248	単元株式数	100株
業種	サービス業	発行済株式数	9,416,000株
略称	人夢技術G	当期配当予想	70円

人・夢・技術グループとは

経営理念 (PURPOSE)

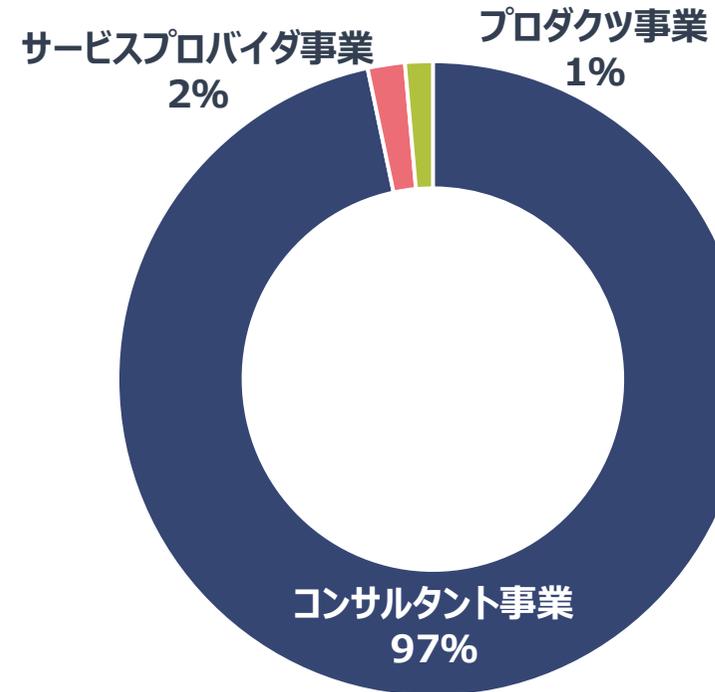
人が夢を持って暮らせる社会
の創造に技術で貢献する。

ー建設コンサルタント事業を中心に、
地盤から地上・宇宙までー

インフラ技術の高度化・多角化、
他業種企業との連携により、
建設コンサルタントの枠にとらわれない、
幅広い社会課題に対応するインフラサービ
スの提供をグループで目指します。

人・夢・技術グループの事業

(2023年9月期セグメント別売上高)

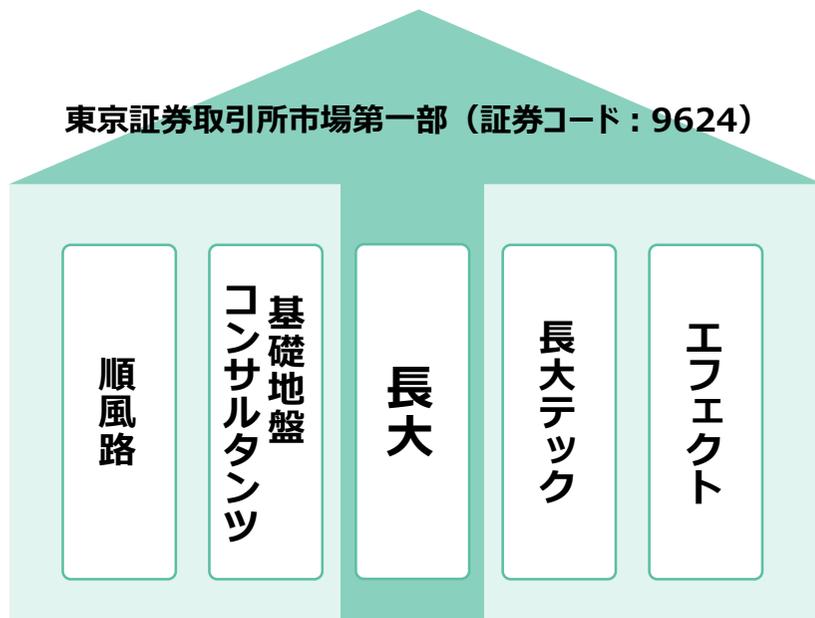


コンサルタント事業	384億円	・建設コンサルティング ・地質調査・地盤調査 ・まちづくり など
サービスプロバイダ事業	7億円	・小水力発電事業 ・バイオマスガス化発電事業
プロダクツ事業	5億円	・エコ型枠リース ・コンクリート用夜間反射塗料

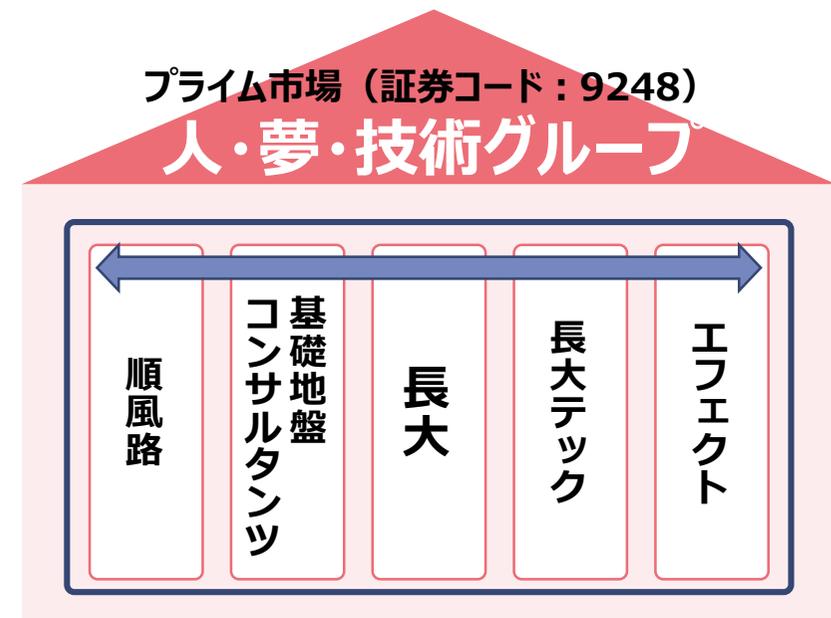
2021年10月1日に設立した「人・夢・技術グループ株式会社」は第3期へ

グループ各社の積極的な事業展開と柔軟な発想に基づく連携を支援し
新規事業やM&Aを通じた事業軸を拡大していく新たなグループ経営形態への進化

～2021年9月



2021年10月～



主要子会社5社で設立した人・夢・技術グループは、
第3期となる現在までに主要子会社が7社へと成長

人・夢・技術グループの沿革と売上高・従業員数推移

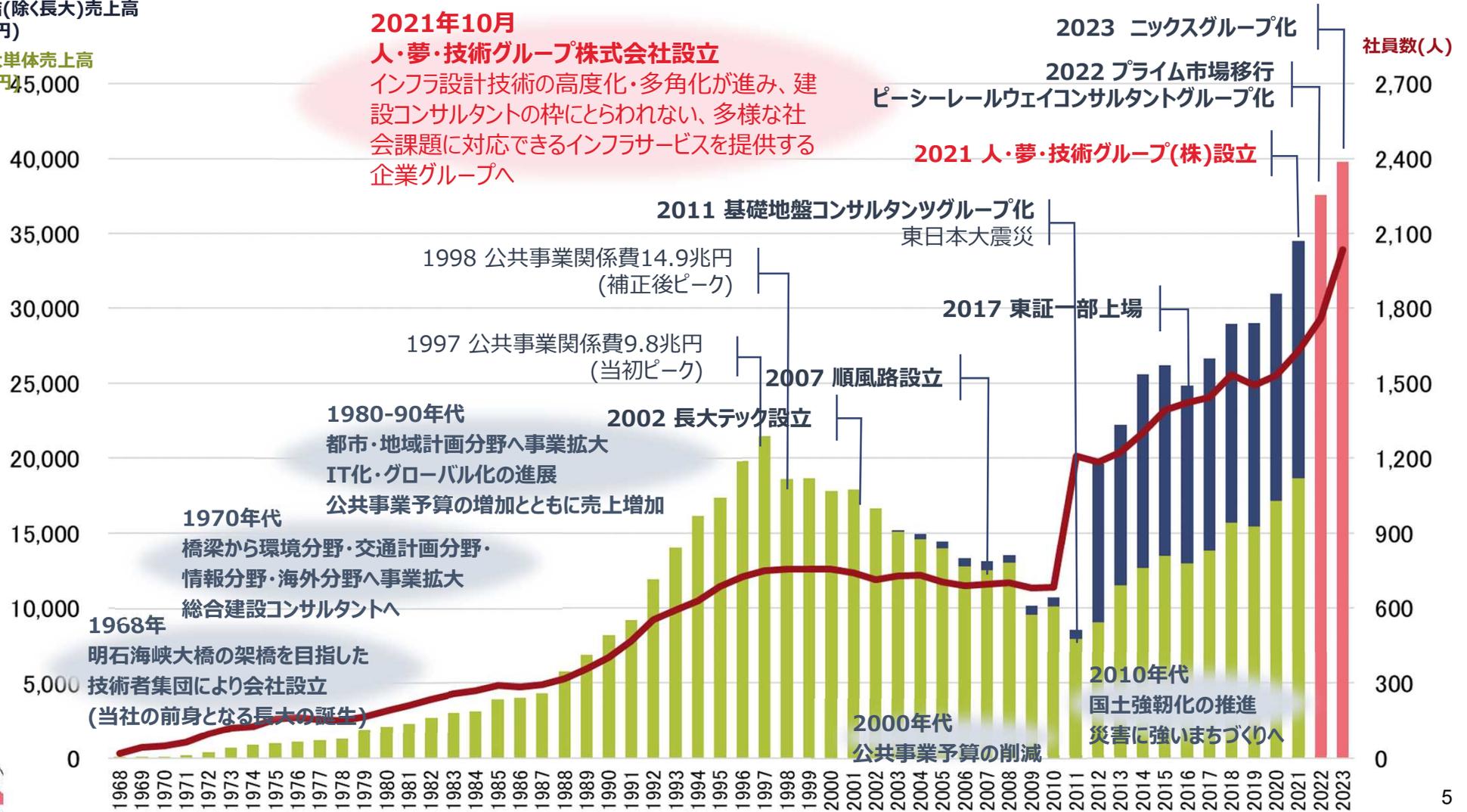
人が夢を持って暮らせる社会の創造に向けて順調に仲間がグループに参画

■ 連結売上高
(百万円)

■ 連結(除く長大)売上高
(百万円)

■ 長大単体売上高
(百万円)

社員数(人)



人・夢・技術グループが提供するインフラサービスの領域

人・夢・技術グループは、地盤から空・宇宙まで、時代の変化や未来を見据えて社会課題に取り組み、人々の生活を支える幅広い社会インフラサービスを提供

I 国土基盤整備・保全
調査・計画・設計
施工管理・長寿命化

再生可能
エネルギー
関連

文教・医療
福祉
施設建築

防災・減災

II 環境・新エネルギー
調査・計画・設計
施工管理・運用
洋上風力発電・
海底地盤調査

AI/IoT
情報インフラ

橋梁設計
構造物設計

地盤調査

環境関連

まちづくり

道路・交通
ITS関連

インフラ維持管理
長寿命化

地域創生

III 地域創生
地域、都市開発調査
まちづくり、
都市システム化計画
公共施設運営

鉄道関連

港湾・河川
水工関連

公共事業
PPP/PFI
関連

IV 海外連携・新領域
調査・計画・設計・運営
デジタル田園都市・量子・
空飛ぶクルマ

建設コンサルタント業界のビジネスモデル・業界構造

社会インフラが整備されるまでのプロセスには、大きく分けて7つのフェーズがあり、建設コンサルタントは、施工以外のフェーズに関与する建設事業の総合的なアドバイザー

国民・県民・市民

社会資本の提供 ↑ ↓ 納税

発注者

行政 (国・都道府県・自治体、国際機関など)
事業の決定、予算化と執行

成果物(調査結果等)納品

業務の発注

工事の施工

工事の発注

受注者

建設コンサルタント

ゼネコン

建コン

企画

調査

計画

設計

施工

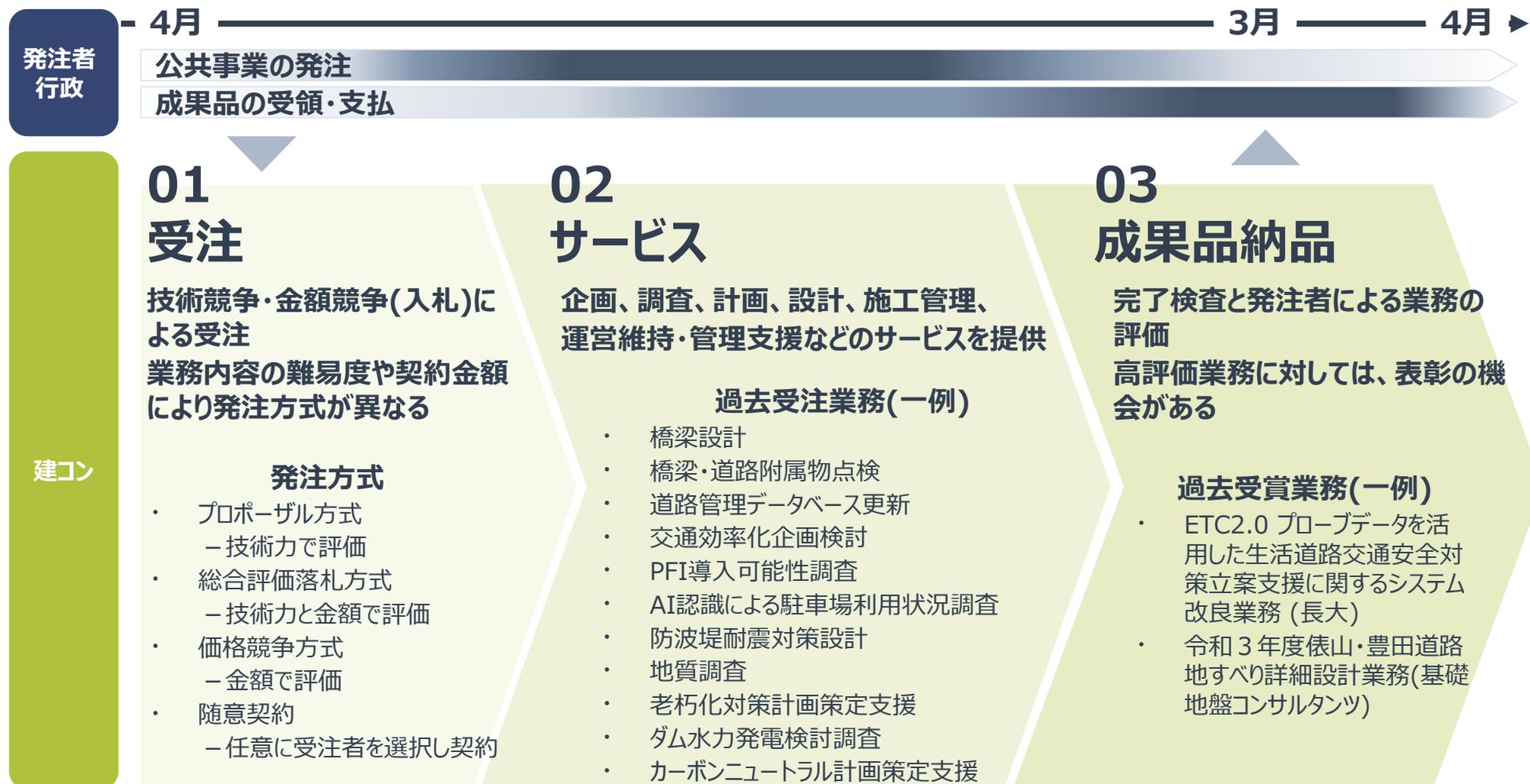
施工管理

運営維持
管理支援

社会資本(インフラ)整備の流れ

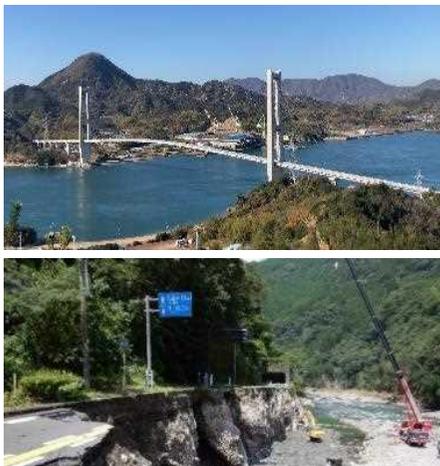
建設コンサルタントの業務の流れ

公共事業の多くは年度単位で動く。近年は技術提案を含む発注方式が増加傾向



人・夢・技術グループの基幹事業

I 国土基盤整備・保全



【主な顧客】

国土交通省、地方自治体、JICA、海外政府機関

【重点分野】

- 点検業務の拡大やDXの推進
- 包括的なインフラ維持管理業務へ展開
- 災害時の迅速な対応や復旧支援

【受注関連トピックス】

- AIを用いた舗装点検の効率化（長大）
- 特異な場所でドローンを使った法面劣化度評価（基礎地盤C）

II 環境・新エネルギー



【主な顧客】

一次官庁、地方自治体

【重点分野】

- 自治体や民間のカーボンニュートラル計画の立案や推進支援
- 再生可能エネルギー事業の拡大

【受注関連トピックス】

- 治水機能強化と水力発電の促進の両立「ハイブリッドダム」事業の実現可能性調査・詳細設計業務（長大）

III 地域創生



【主な顧客】

地方自治体

【重点分野】

- デマンド交通のサービスの拡大と地域展開や自動運転の導入
- 建築設計とまちづくり事業の技術・ノウハウを活かしたPPP事業の拡大

【受注関連トピックス】

- 地域交通の検討に向けた普及活動や自動運転の実証実験（長大・順風路）

IV 海外連携展開領域



【主な顧客】

一次官庁、地方自治体、JICA、海外政府機関

【重点分野】

- 橋梁・鉄道・地盤調査および解析事業の更なる強化
- TODなど新たな事業分野への拡大

【受注関連トピックス】

- 2次元/3次元の高度な地盤解析技術を用いて安全で経済的な地盤設計（基礎地盤C）

人・夢・技術グループの新規事業

空飛ぶクルマ



- ITS/交通分野・建築分野・環境分野など、建設コンサルタントの技術やノウハウを生かし、離発着場の設計や運行ルールづくり・運営事業などに向けて事業領域を拡大する
- 2024年2月、誘客促進、地域活性化等推進のため、和歌山県・(株)IHI・南海電鉄(株)と連携協定を締結し社会実装を推進

量子コンピュータ



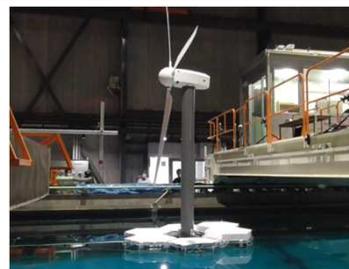
- 量子技術を活用した未来のまちづくり『クオラムシティ構想』を推進。量子データセンターの運営や量子人材開発など、今後の日本の成長を担う新たな事業へ領域を拡大する
- 2024年7月 埼玉県行田市と「地域課題解決のためのDX推進に関する連携協定」を締結

デジタル田園都市



- 政府が推進するデジタル田園都市国家構想の最上位であるType3に選定された北海道更別村でプロジェクトを推進中
- 今期より長大にスマートシティ事業部を立ち上げ、地方におけるスマートシティ事業を展開、今期2億円程度の受注見込

水上都市



- 海面利活用や海面上昇のリスクに備え、安全かつ持続可能な生活基盤を提供することを目指す
- 2023年9月 浮体式洋上風力発電に関する特許を取得
- 2024年7月 浮体建築の実績を持つFlexBase社(オランダ)とパートナーシップ契約を締結

主要グループ会社 (2024年3月時点)

高い技術とグループ総合力で幅広いインフラサービスに寄与
安全・安心な社会インフラを支え、新しいまちづくりの実現へ

技術力を高度化・多角化し、建設コンサルタントの枠にとらわれない、多様な社会課題に対応できるインフラサービスを提供する企業グループへ



株式会社 長大

橋梁をはじめインフラ整備を行う総合建設コンサルタント

売上高 206億3,200万円
社員数 943名

Kisojiban

総合地盤コンサルタント
再エネ開発

売上高 158億3,800万円
社員数 690名



株式会社 長大テック

インフラ施設の維持管理
老朽化対策

売上高 14億3,800万円
社員数 124名

順風路

道路交通情報システム
オンデマンド交通システム開発

売上高 2億5,100万円
社員数 12名

effect

組み込みソフトウェア、
AI/IoTシステムの開発

売上高 3億1,700万円
社員数 36名

PCRW

橋梁・道路の計画、設計を柱とする地域建設コンサルタント

売上高 18億9,200万円
社員数 156名

NICS
Cyber Corporation & Database

IT・DX活用コンサルティング
ソリューション開発・構築支援

売上高 7億1,600万円
社員数 47名

グループ会社数
国内9社 海外3社

主要拠点数
国内136カ所
海外8カ国 9カ所



人・夢・技術グループ株式会社

純粋持株会社、グループ経営機能、グループ会社の事業成長の支援

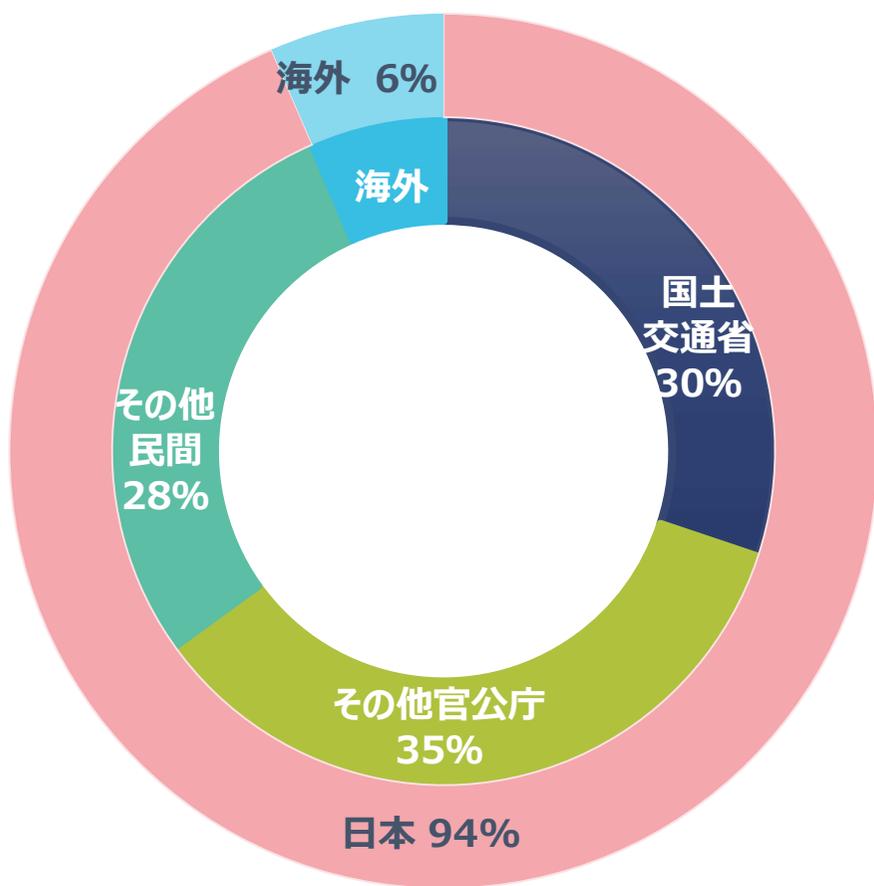
主要グループ会社の事業分野

基幹事業の建設コンサルタント事業を中心に、各事業会社がそれぞれの特徴を活かしながらグループシナジーを発揮し新しい事業分野へも展開

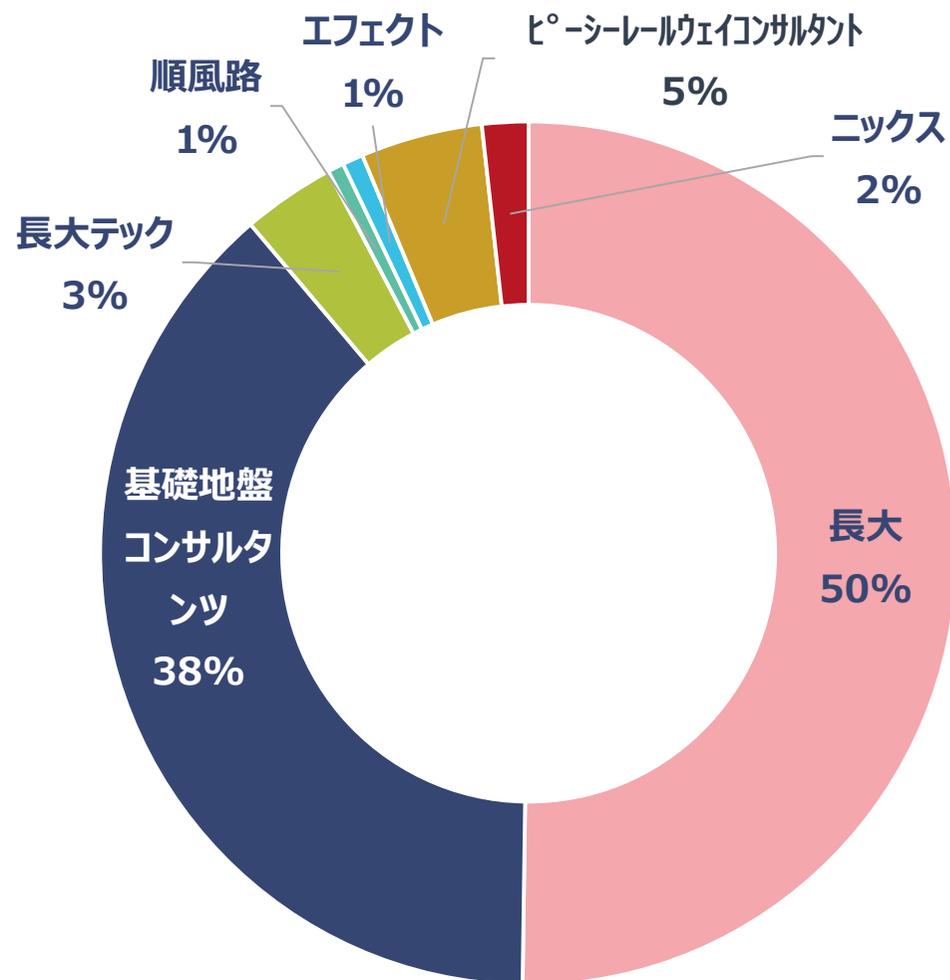
事業会社	橋梁・交通・河川	環境・再エネ	土質・地盤	メンテナンス	まちづくり	IT	モビリティ	新規事業	海外
長大  株式会社 長大 総合建設コンサルタント	○	○			○	○	○	○	○
基礎地盤コンサルタンツ Kisjiban 総合地盤コンサルタント		○	○					○	○
長大テック  株式会社 長大テック インフラ施設維持管理・老朽化対策事業	○			○		○			
順風路 道路交通情報  システム・オンデマンド交通システム開発					○	○	○	○	
エフェクト 組込ソフトウェア  AI/IoT活用システムの自社開発						○		○	
ピーシーレールウェイコンサルタント  地域建設コンサルタント	○			○					○
ニックス WEBソリューション  IT・DX活用コンサルティング						○		○	

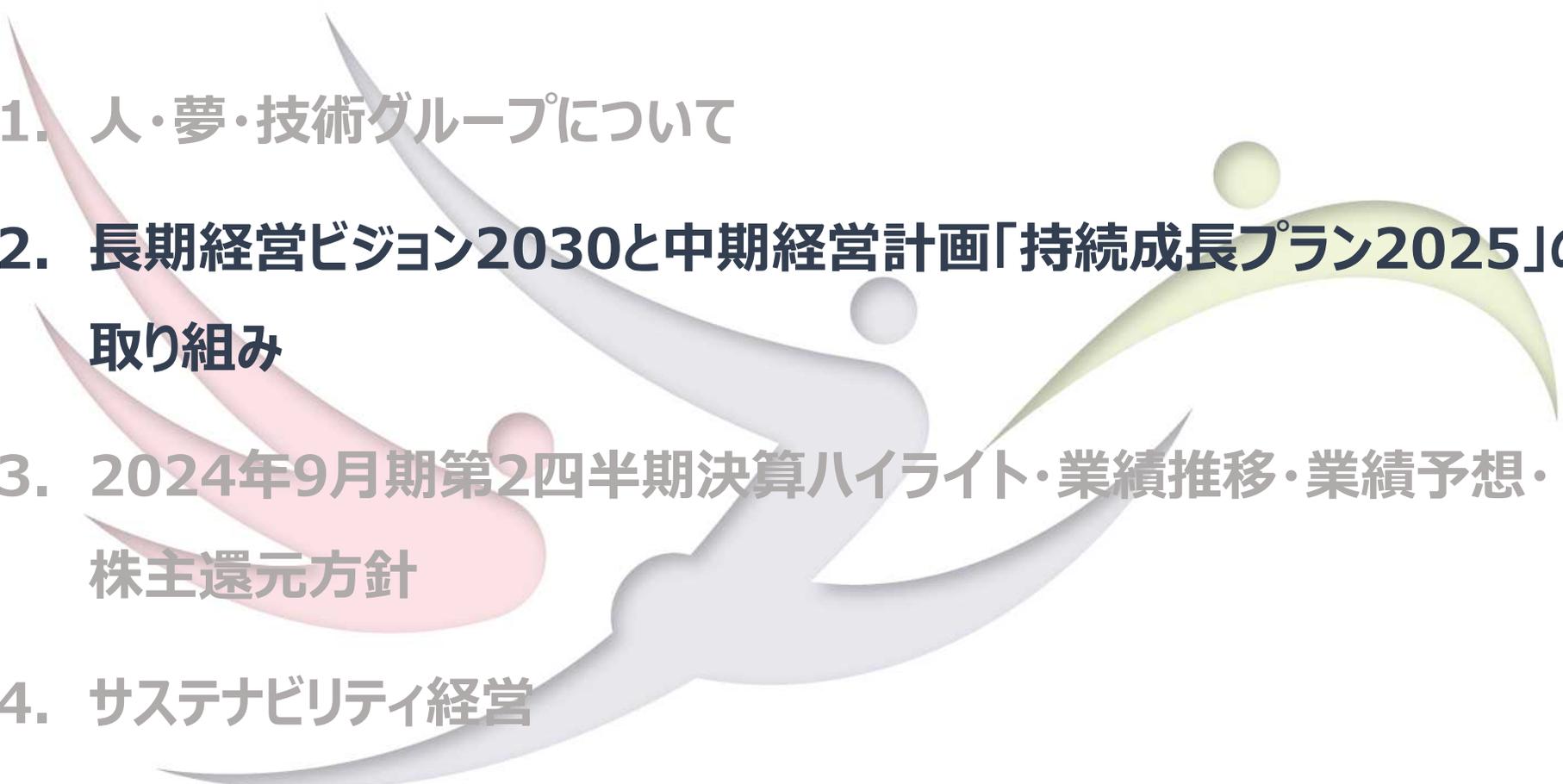
人・夢・技術グループの売上高構成 (2023年9月期)

顧客別売上高



会社別売上高



- 
- A stylized illustration of a human figure with arms raised in a celebratory or aspirational pose. The figure is composed of several overlapping, curved shapes in shades of pink, grey, and light green. The head is represented by a small grey circle, and the arms are long, sweeping curves that extend upwards and outwards. The overall style is modern and abstract.
1. 人・夢・技術グループについて
 2. **長期経営ビジョン2030と中期経営計画「持続成長プラン2025」の
取り組み**
 3. 2024年9月期第2四半期決算ハイライト・業績推移・業績予想・
株主還元方針
 4. サステナビリティ経営
 5. 2024年9月期上半期事業トピックス

「長期経営ビジョン2030」人・夢・技術グループが目指すコンサル像

経営環境

公共投資が限定されつつも
高度化・多機能化・長寿命化など
複雑化するインフラ整備が増大

ハード・ソフトのインフラサービスに
おける民間企業の役割が拡大

IT技術の活用やDXなど
技術革新のニーズがスピード化

「長期経営ビジョン2030」の目指す姿
発注者の技術パートナーとしての社会資本の総合的なプロデュース企業から
自ら新たな技術やサービスを開発・創出する企業へ

持続可能なグローバル社会

地球環境と調和した持続可能な経済成長と
地域の安全・安心で豊かな暮らしの基盤を創造



人・夢・技術グループ

『グローバル インフラサービスプロバイダ
& エンジニアリング コンサルティングファーム』

エンジニアリング
コンサルティングファーム

インフラサービス
プロバイダ

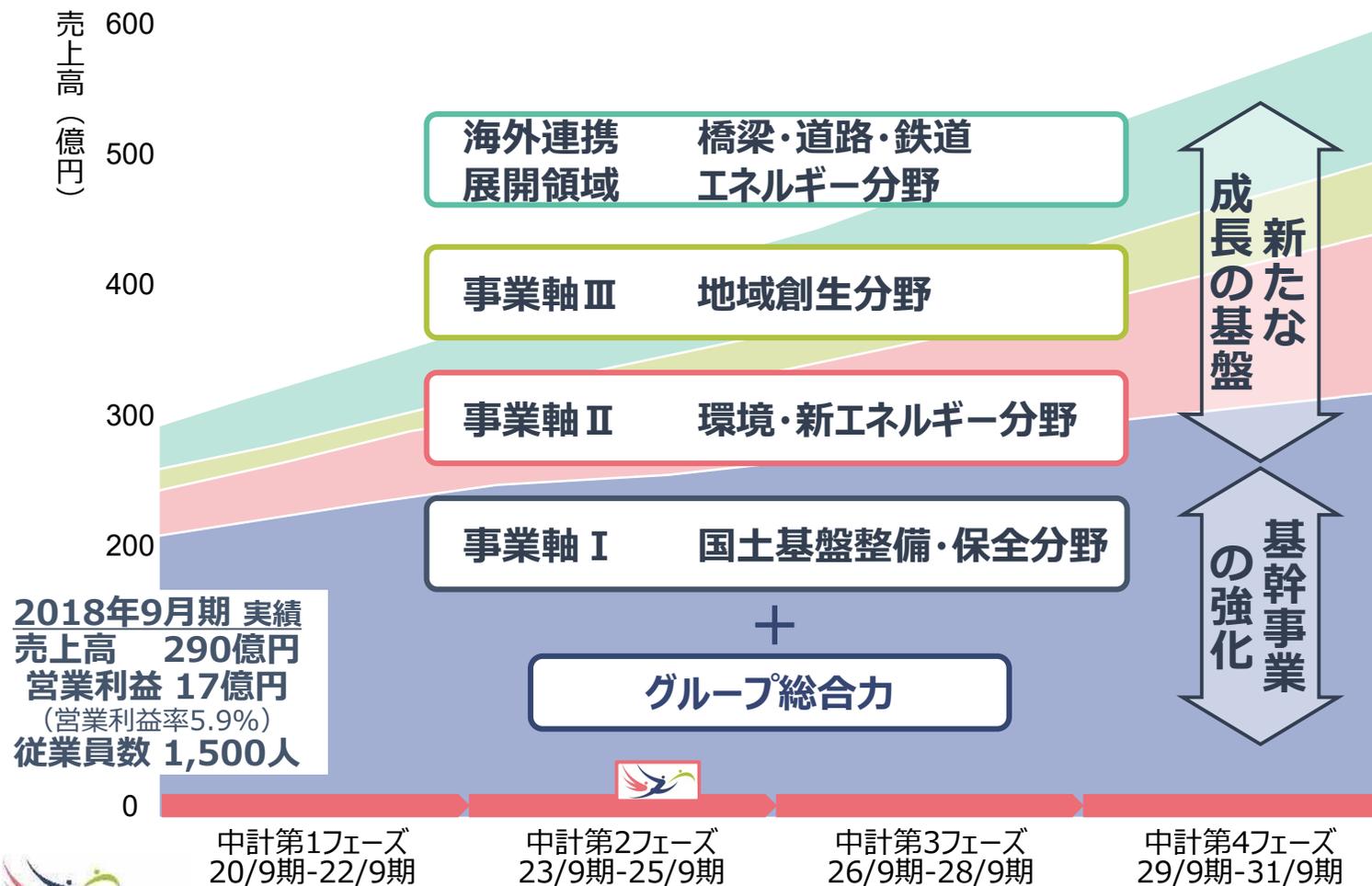
自ら新たな技術やサービスを開発・創出

イノベータ

長期経営計画「長期経営ビジョン2030」 2020年9月期～2031年9月期

人・夢・技術グループ拡大の基本方針「基幹事業の強化」と「新たな成長の基盤づくり」

2031年9月期 目標値
売上高 600億円
営業利益 50億円
 (営業利益率8.3%)
従業員数 約2,600人

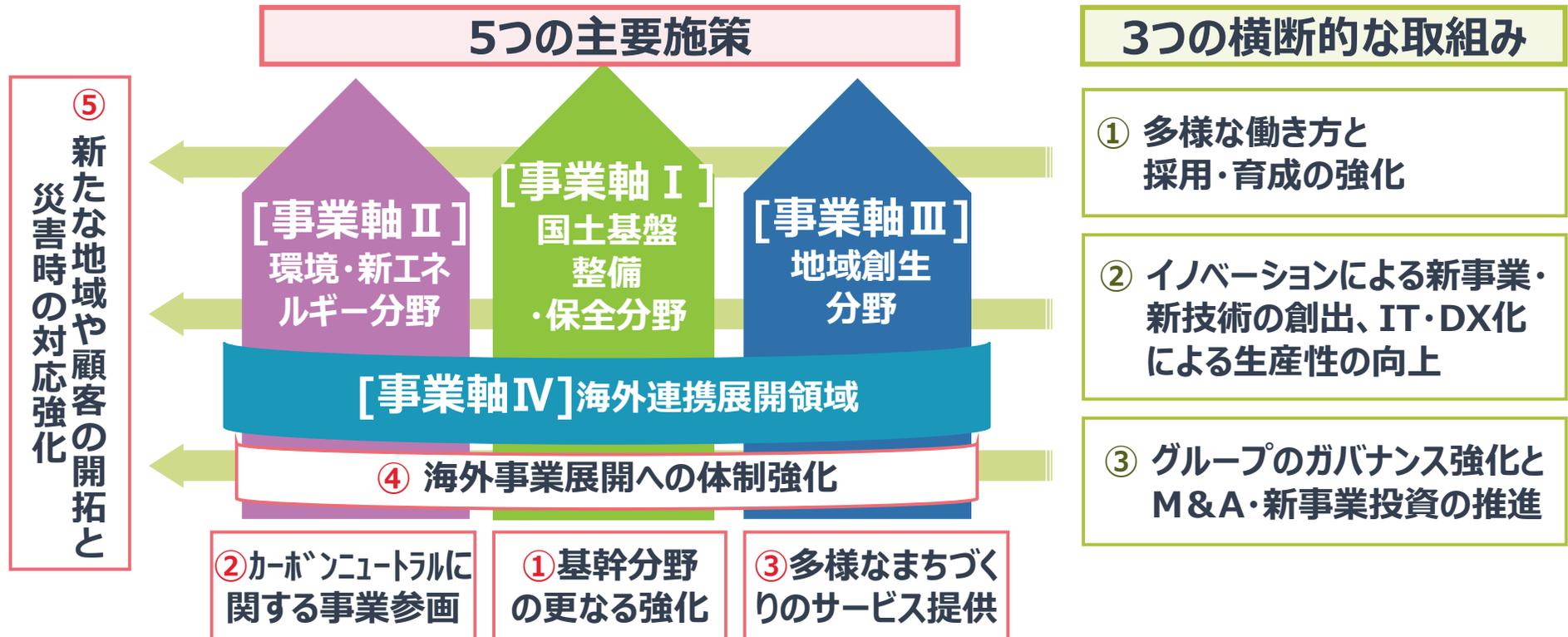


安全・安心で
 豊かな暮らしの
 基盤の創造

中期経営計画「持続成長プラン2025」 2023年9月期～2025年9月期

【基本方針】

国土基盤整備・保全分野のさらなる強化と環境・新エネルギー分野
及び地域創生分野の新たな事業分野としての確立。
事業を支える多様な人材が働きがいを持てる環境づくりを推進。



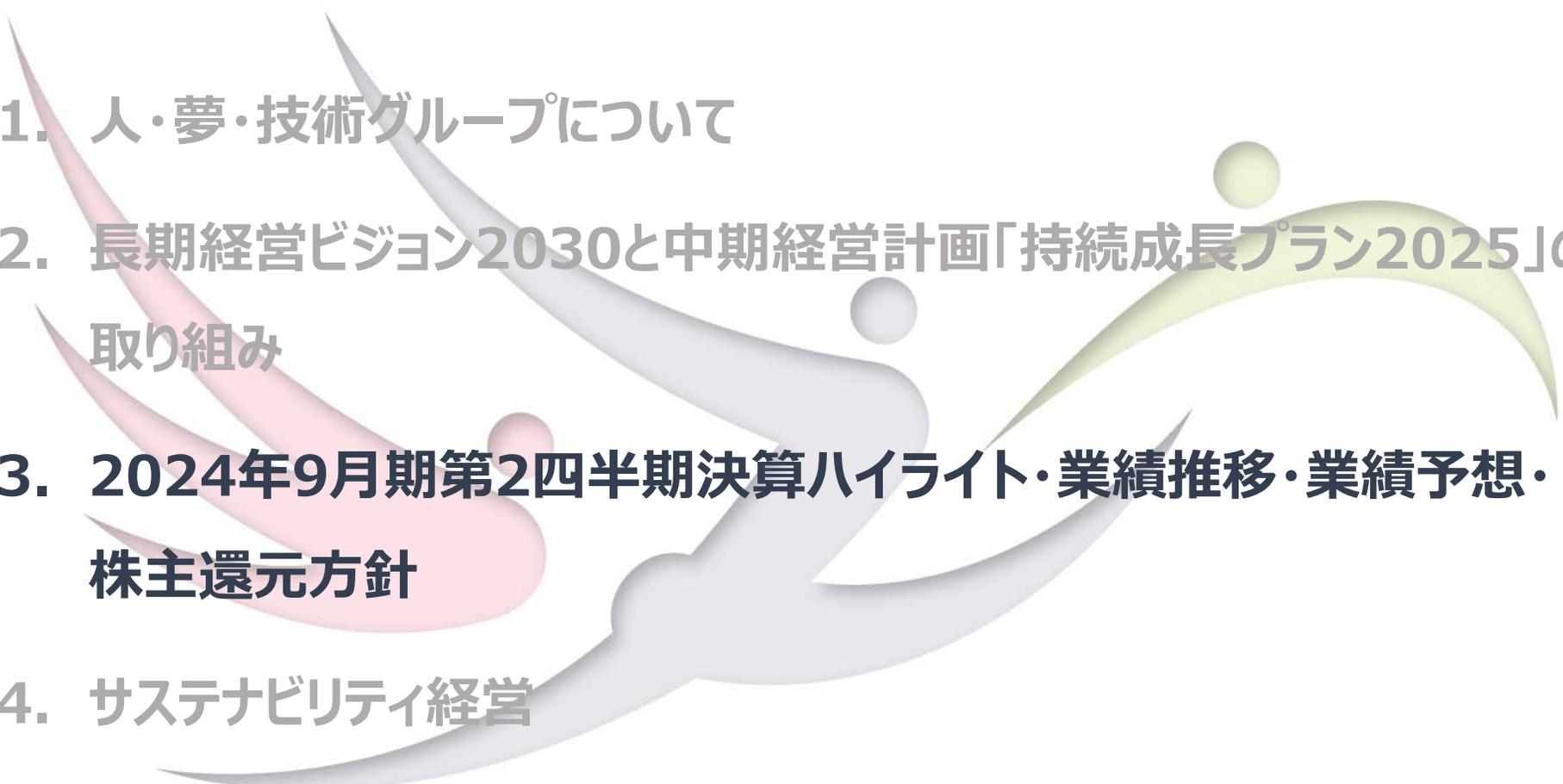
「持続成長プラン2025」の経営指標と成長投資

経営指標（2025年の目標値）



成長投資（2025年までの投資額）



- 
- A stylized illustration of three human figures in motion, rendered in shades of pink, grey, and green. The figures are depicted with flowing, dynamic lines, suggesting movement and energy. They are positioned behind the main text, with the pink figure on the left, the grey figure in the center, and the green figure on the right.
1. 人・夢・技術グループについて
 2. 長期経営ビジョン2030と中期経営計画「持続成長プラン2025」の
取り組み
 3. **2024年9月期第2四半期決算ハイライト・業績推移・業績予想・
株主還元方針**
 4. サステナビリティ経営
 5. 2024年9月期上半期事業トピックス

連結損益計算書サマリー

受注高、売上、利益ともに通期計画に対して順調に進捗

(百万円)

	2023年9月期 中間実績	2024年9月期 中間実績	対前期 同四半期 増減率	通期予想	対前期 増減率
受注高	15,626	18,715	19.8%	43,500	11.8%
売上高	21,640	21,706	0.3%	43,000	8.0%
営業利益	2,975	2,674	△10.1%	2,900	1.4%
経常利益	3,099	2,694	△13.0%	2,910	△9.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,026	1,659	△18.1%	1,700	41.2%

■ 受注高について

- 国土交通省、官公庁受注を軸に堅調、前年同四半期を大きく上回って推移

■ 売上高について

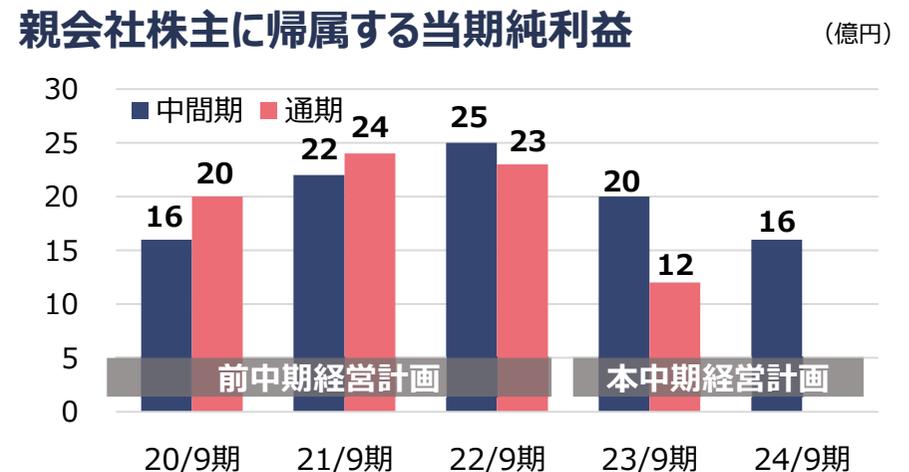
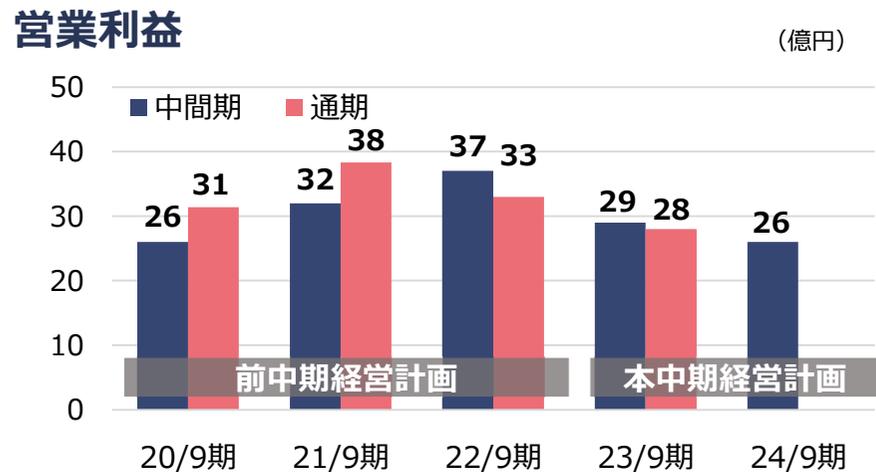
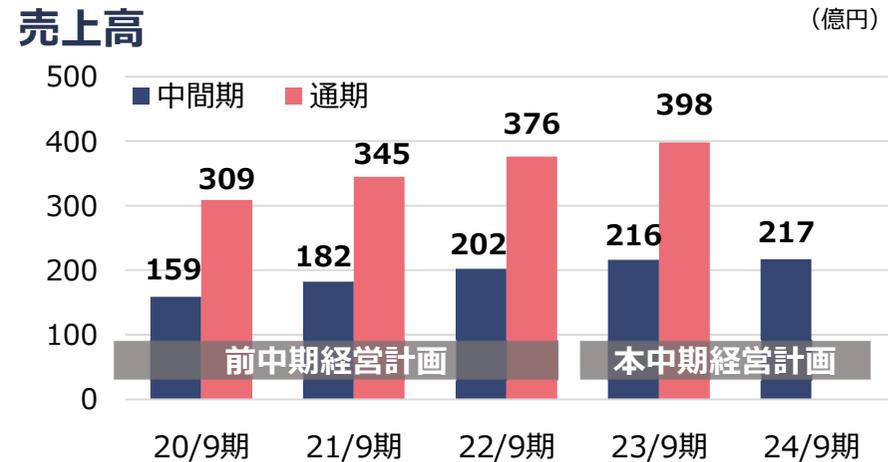
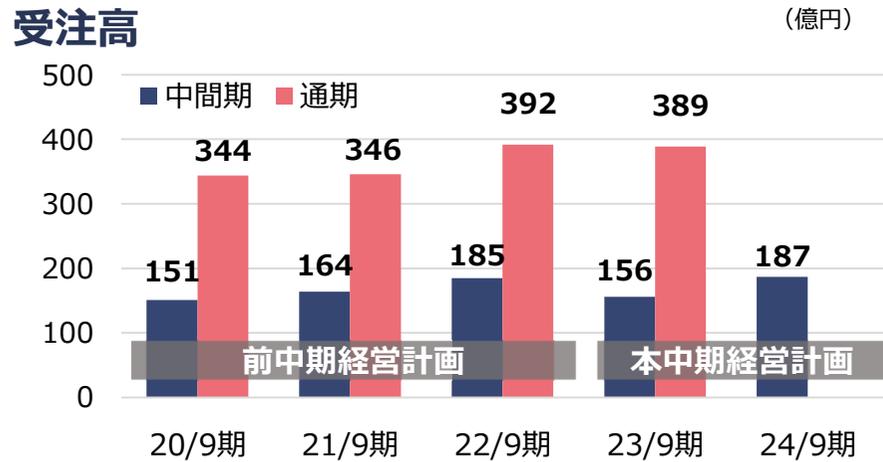
- 受注高の堅調な進捗により、前年同四半期を上回って推移

■ 営業利益、経常利益について

- 売上高は増加したものの、技術者の増員、新事業領域拡大に向けての研究開発投資の実施により昨年を下回る

連結業績推移 ～受注高・売上高・利益～

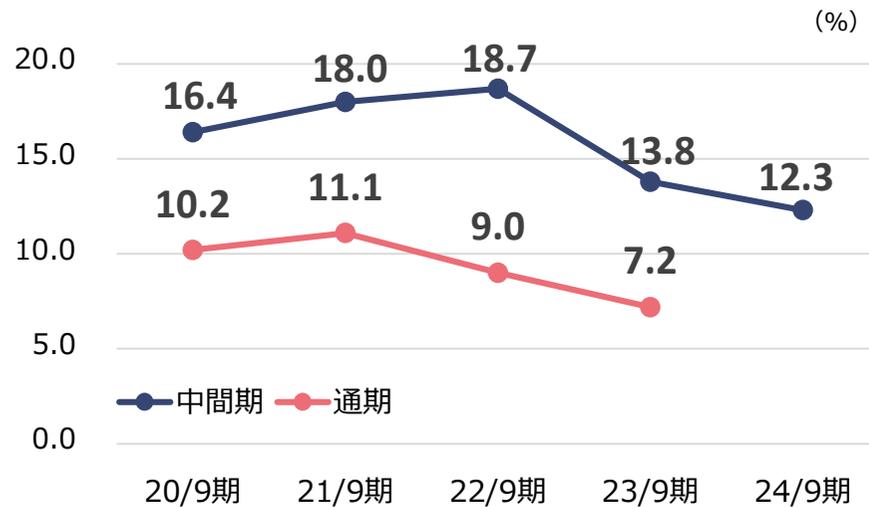
受注高、売上高は堅調に増加



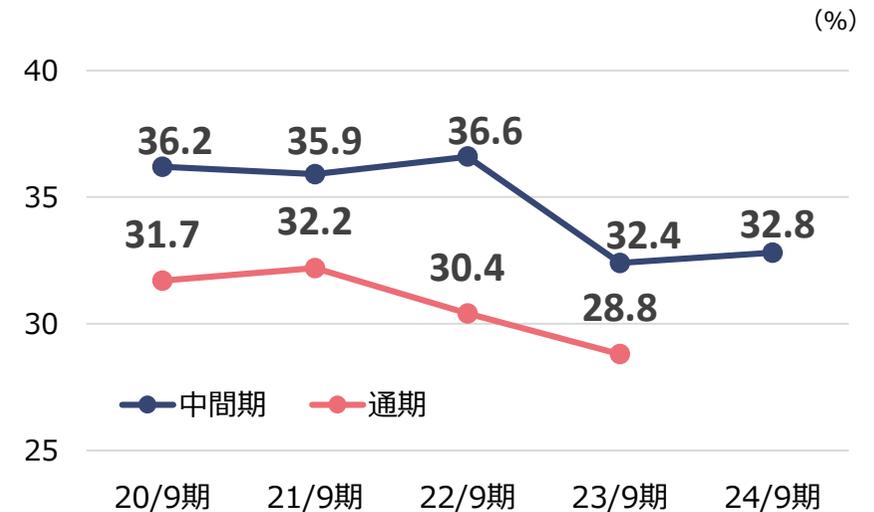
連結業績推移 ～利益率～

売上高は続伸。営業利益率は中期的な事業基盤構築に向けた人的投資や事業投資により一時的に減少するも、売上総利益率はIT化・DX化の推進等により増加

営業利益率



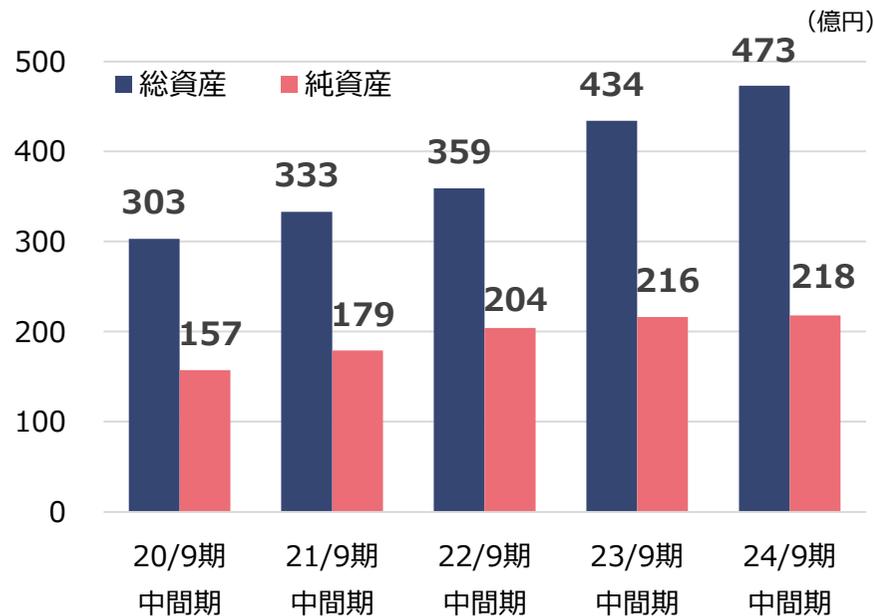
売上総利益率



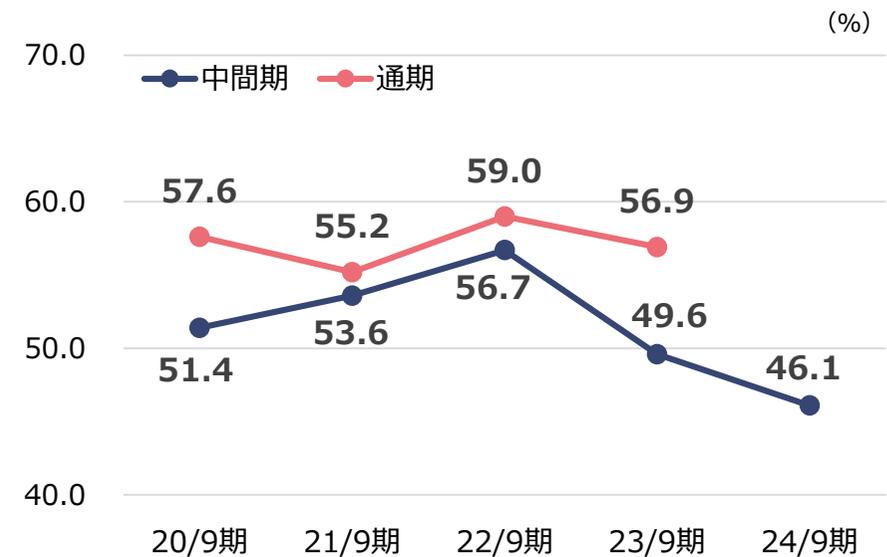
連結財務状況推移 ～自己資本比率～

堅調な売上の増加、利益剰余金の計上により、総資産・純資産は増加

総資産・純資産



自己資本比率



- **総資産、純資産の増加について** 継続した利益剰余金の計上により、順調に増加
- **自己資本比率について** 利益剰余金が増加する一方、一過性の運転資金増加に伴う短期借入金が増加などにより減少

連結業績予想

第2四半期では、通期業績予想に変更なし

	2023年9月期 通期実績	2024年9月期 通期予想	対前期 増減率	2024年9月期 中間実績	対前期 同四半期 増減率
受注高	38,920	43,500	11.8%	18,715	19.8%
売上高	39,812	43,000	8.0%	21,706	0.3%
営業利益	2,860	2,900	1.4%	2,674	△10.1%
経常利益	3,200	2,910	△9.1%	2,694	△13.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,203	1,700	41.2%	1,659	△18.1%

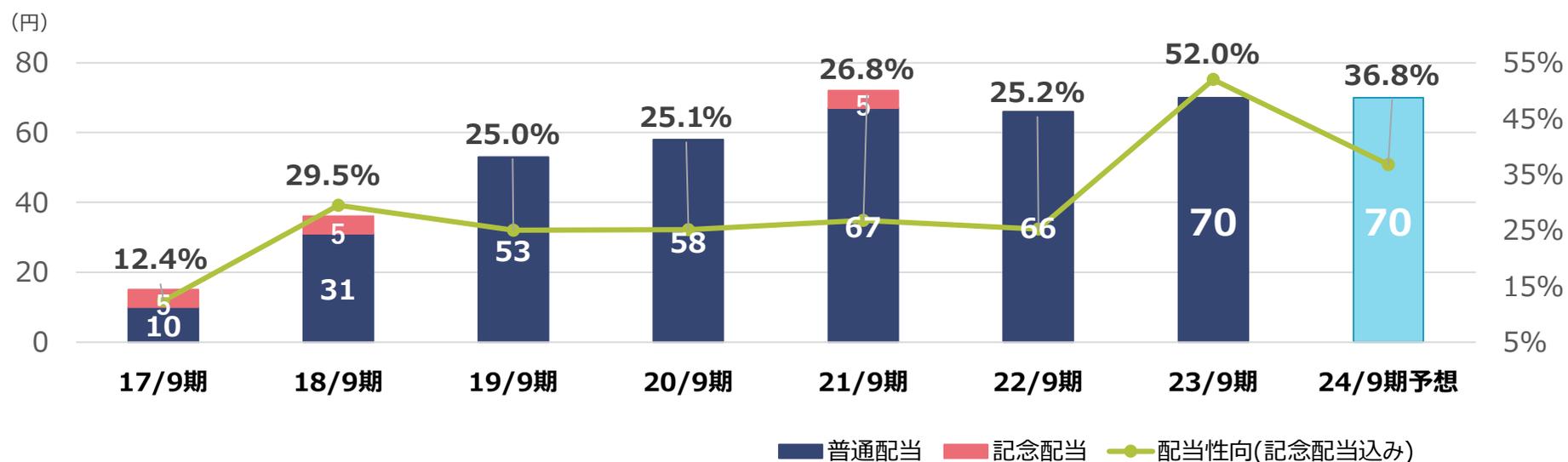
(百万円)

■受注高、売上高、営業利益について

- **受注高**については、国土交通省・官公庁関連業務を軸に、引き続き堅調に推移する見込
- **売上高**については、第2四半期時点で前年同期と同水準であるが、足元の好調な受注を受けて通期予想に変更なし、増収の見込
- **営業利益**については、人的・組織体制強化投資(技術者の増員、給与水準の引き上げなど)および戦略的事業投資(新事業領域拡大に向けた研究開発など)といった先行投資を行いつつも、好調な受注やIT技術の活用による業務効率化も貢献し、通期予想に変更なし、増益の見込

配当推移・株主還元方針

継続的に安定的な配当を実施する基本方針に基づき、2024年9月期は前期と同水準となる普通配当70円を予定



株主還元方針

2023年9月期より、

1株当たり配当額60円と配当性向35%に基づく配当額の高い方を目安として、より安定的な配当を行う方針

(長期経営ビジョン最終年となる2031年9月期まで安定的な配当を実施予定)

- 
- A stylized illustration of a human figure with arms raised in a celebratory or aspirational pose. The figure is composed of several overlapping, curved shapes in shades of pink, light blue, and light green, suggesting movement and growth. The figure is positioned in the background, behind the main text.
1. 人・夢・技術グループについて
 2. 長期経営ビジョン2030と中期経営計画「持続成長プラン2025」の
取り組み
 3. 2024年9月期第2四半期決算ハイライト・業績推移・業績予想・
株主還元方針
 4. **サステナビリティ経営**
 5. 2024年9月期上半期事業トピックス

サステナビリティの推進

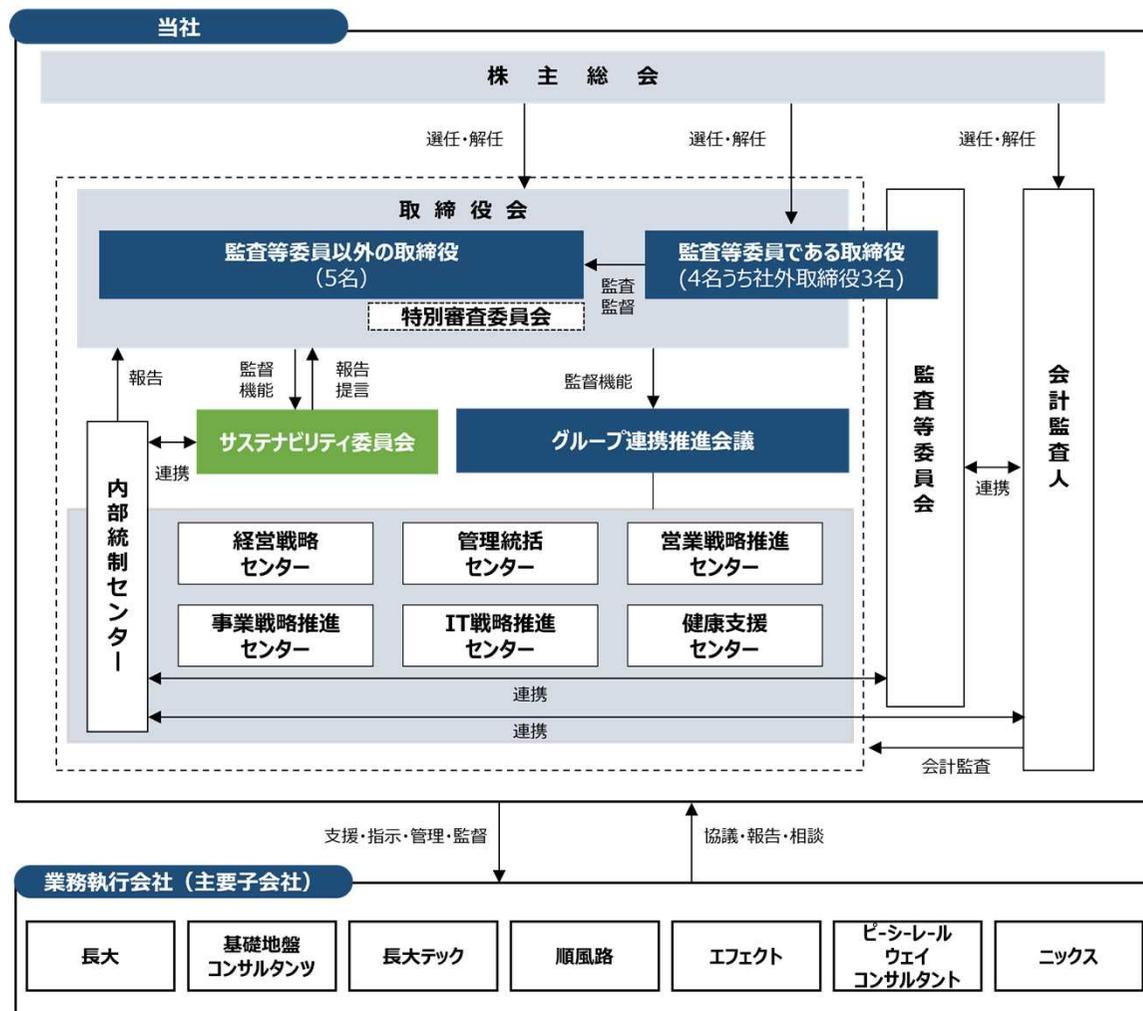
サステナビリティ基本方針(2022年1月公表)

人・夢・技術グループは、
人が夢を持って暮らせる持続可能な
社会づくりに技術をもって貢献します。

社会インフラサービスを提供する
当社事業そのものが
社会のサステナビリティに直結する

持続可能な社会の創造と
経営・事業の持続可能性の向上
に向けてサステナビリティ経営を推進

サステナビリティ推進体制



サステナビリティの推進 - 気候変動対応

温室効果ガスの約3分の2がインフラ関連から排出されていると言われる中、気候変動対応を当社グループの持続的な成長のための重要な経営課題の一つと捉える

人・夢・技術グループのカーボンニュートラルへの取り組み

(2023年9月27日公表)

『自社のカーボンニュートラル』の実現とインフラ技術を通じた『社会全体のカーボンニュートラル』への貢献の両軸でカーボンニュートラルを目指す。

■ 『自社のカーボンニュートラル』の実現

従業員の行動変化とグループの取り組みにより、2030年35%削減、2050年カーボンニュートラルを目指す

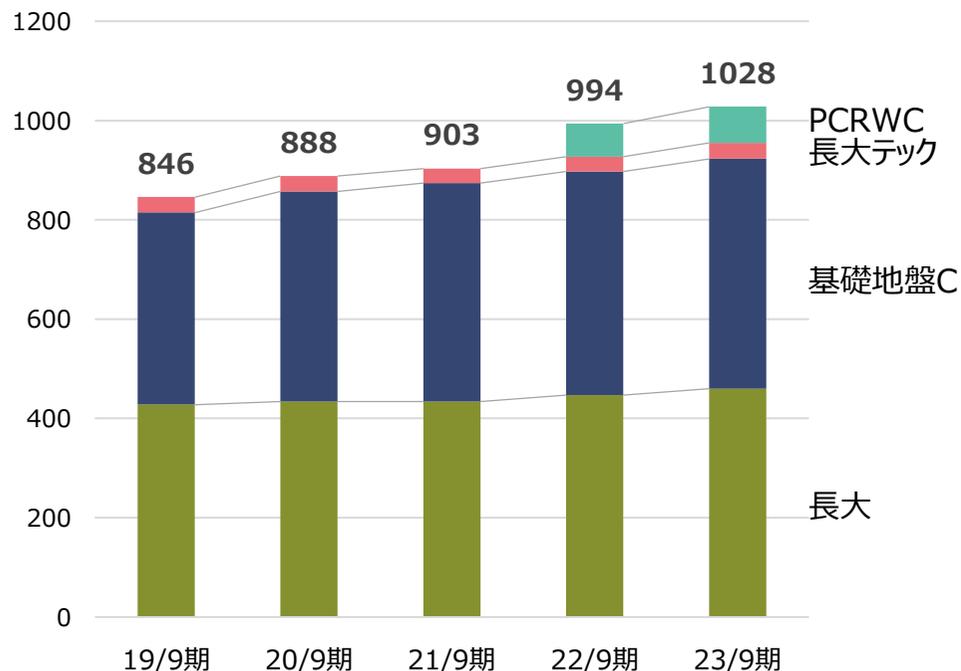
■ インフラ技術を通じた

『社会全体のカーボンニュートラル』への貢献
当社グループの事業社会インフラサービスの提供を通じて、社会全体の温室効果ガス排出削減に貢献



サステナビリティの推進 - 人的資本経営

有資格者数推移



- **新規の技術士合格者数の増加**、ならびに有資格者の中途採用やM&Aの効果により有資格者数は年々増加
- 技術力向上のため、資格取得を推奨
- 資格取得や技術継承のための**社内勉強会を積極的に開催**

技術士とRCCMと一級建築士の取得者数合計（延べ人数）

技術士：土木専門技術に関する国家資格

RCCM：(一社)建設コンサルタンツ協会が提供する土木専門技術に関する民間資格

人的資本の最大化と活用

人材育成の強化

- 年1回以上のキャリア開発を目的とした階層別研修
- スキルアップを目的とした社内勉強会の強化
- 博士課程・大学院進学補助、技術士・資格取得手当の拡充
- 比国人材の活用

処遇改善

- 3年連続、3%以上の給与水準の引き上げ
- 昇格タイミング、管理職登用時期の見直し検討

生産性向上

- グループ全体のITインフラ整備、ネットワーク統合の推進
- 働き方改革を通じて生産性の向上
- 2023年9月期よりエンゲージメントサーベイの実施
- 健康支援センターの設置

健康経営の促進

- ニックスが健康優良企業「銀の認定」に認定
- ピーシーレールウェイコンサルタントが子育てサポート企業「くるみん」に認定
- 健康経営の推進に向けた「DE&I・健康セミナー」を初開催



- 
- A stylized illustration of a human figure in a dynamic, forward-leaning pose. The figure is rendered in a light grey color. Behind the figure are three large, flowing, wing-like shapes in shades of pink, light blue, and light green, suggesting movement and growth. The figure's arms are outstretched, and its legs are in a powerful stride.
1. 人・夢・技術グループについて
 2. 長期経営ビジョン2030と中期経営計画「持続成長プラン2025」の
取り組み
 3. 2024年9月期第2四半期決算ハイライト・業績推移・業績予想・
株主還元方針
 4. サステナビリティ経営
 5. **2024年9月期上半期事業トピックス**

2024年9月期上半期の主な受注業務

事業軸Ⅰ 国土基盤整備・保全分野

- ① 「令和6年能登半島地震」の災害復旧支援
- ② 特異な場所での地震災害復旧の調査設計
- ③④点検業務の効率化・新たな技術の活用による近接目視点検

事業軸Ⅱ 環境・新エネルギー分野

- ⑤ 2050年カーボンニュートラルの実現と自然災害の治水機能の両立に向けた「ハイブリッドダム」業務

事業軸Ⅲ 地域創生

- ⑥ 地域交通の検討に向けた普及活動や自動運転の実証実験

事業軸Ⅳ 海外連携展開領域

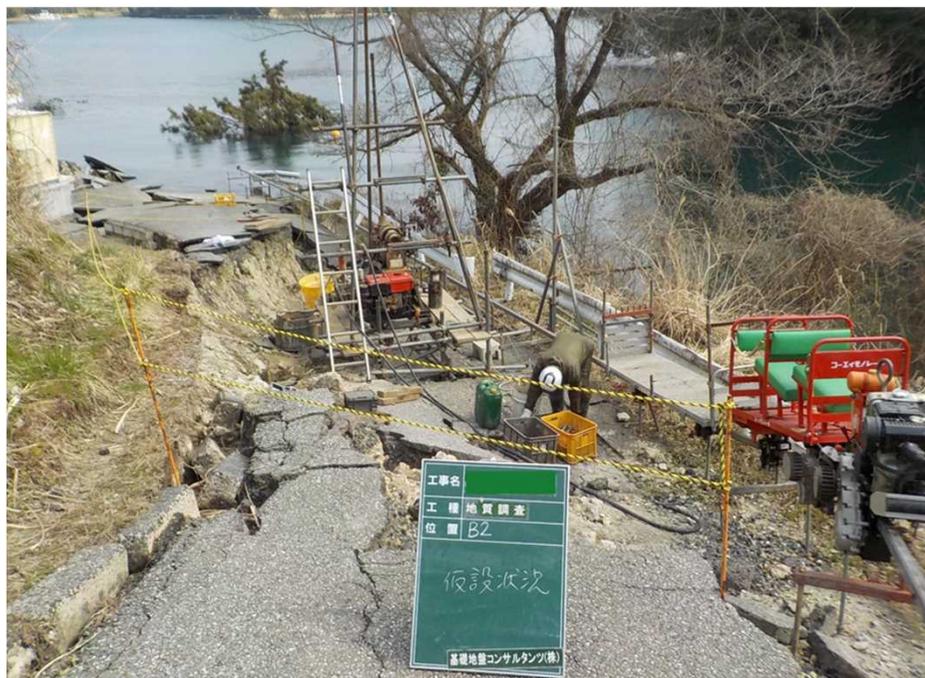
- ⑦ 2次元/3次元の高度な地盤解析技術を用いた安全で経済的な地盤設計

新事業/IT化・DX推進

- ⑧ グループ内の業務効率化や地域全体、社会全体のDX

[事業軸 I 国土基盤整備・保全分野] 災害復旧/防災減災

① 「令和6年能登半島地震」の災害復旧支援



被災地におけるボーリング調査(基礎地盤C)



能登町の避難所に設置したA.Qトイレ(長大)

- 周辺地盤が大きく変状した能登町で、全国からの技術者を結集し地質調査と変状観測を実施。今後は、調査結果をもとに、構造物設計等を実施
- 複合発酵技術による微生物の働きで汚水を浄化し再利用する自己完結型のバイオトイレ『A.Qトイレ』を能登町の避難所に提供。上下水インフラが寸断されても快適なトイレ環境を提供できることなどが評価され、「ジャパン・レジリエンス・アワード」で最優秀賞を受賞

② 特異な場所での地震災害復旧の調査設計



崩壊した法面



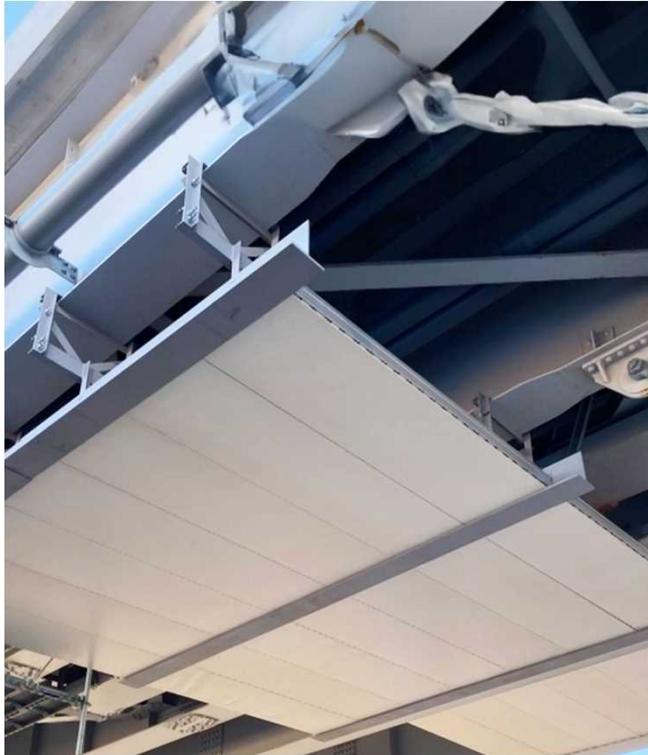
対策施工が完了した法面

断崖絶壁の法面に対する調査設計業務(基礎地盤コンサルタンツ)

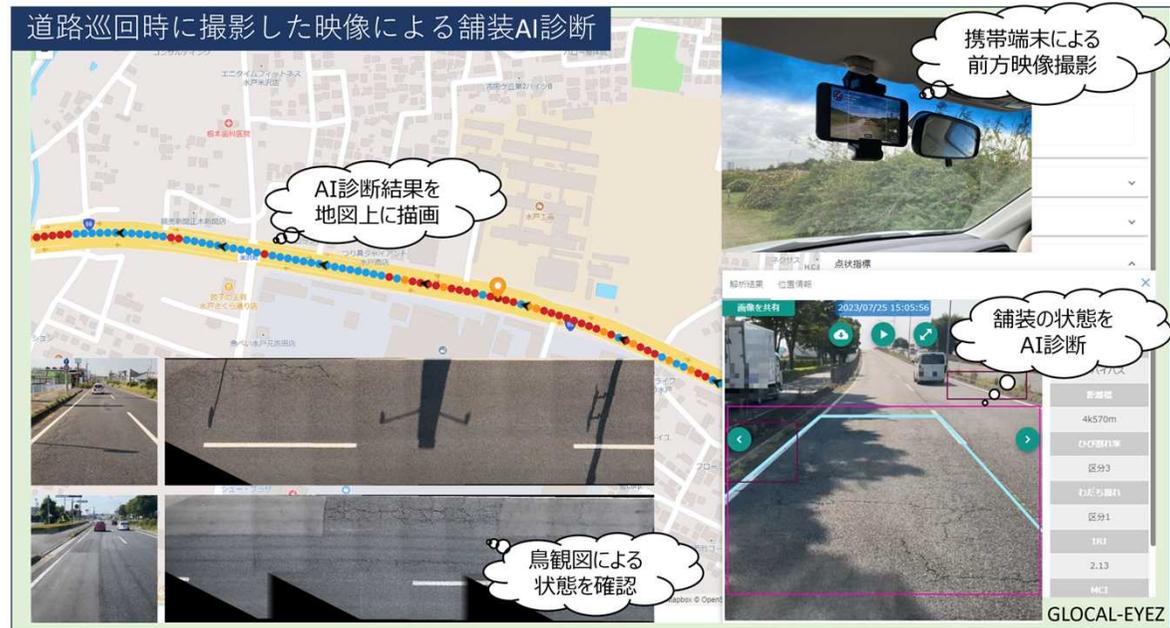
- 基礎地盤コンサルタンツでは、2022年3月に発生した福島県沖地震の復旧業務として、灯台の倒壊を防ぐための調査設計業務を担う。崩壊した断崖絶壁の法面に対し、ドローンによる観察や斜めボーリングなどの技術を駆使し、対策施工を設計することで早期完工に貢献した。

[事業軸 I 国土基盤整備・保全分野] 基幹事業

③ インフラ老朽化に伴う点検業務の増加とともに、さらなる点検業務の効率化に取り組み建物のライフサイクルコスト(LCC)の縮減に寄与



光を通す常設足場パネル「サン・ステラス」(長大)



AIを用いた舗装点検の効率化(長大)

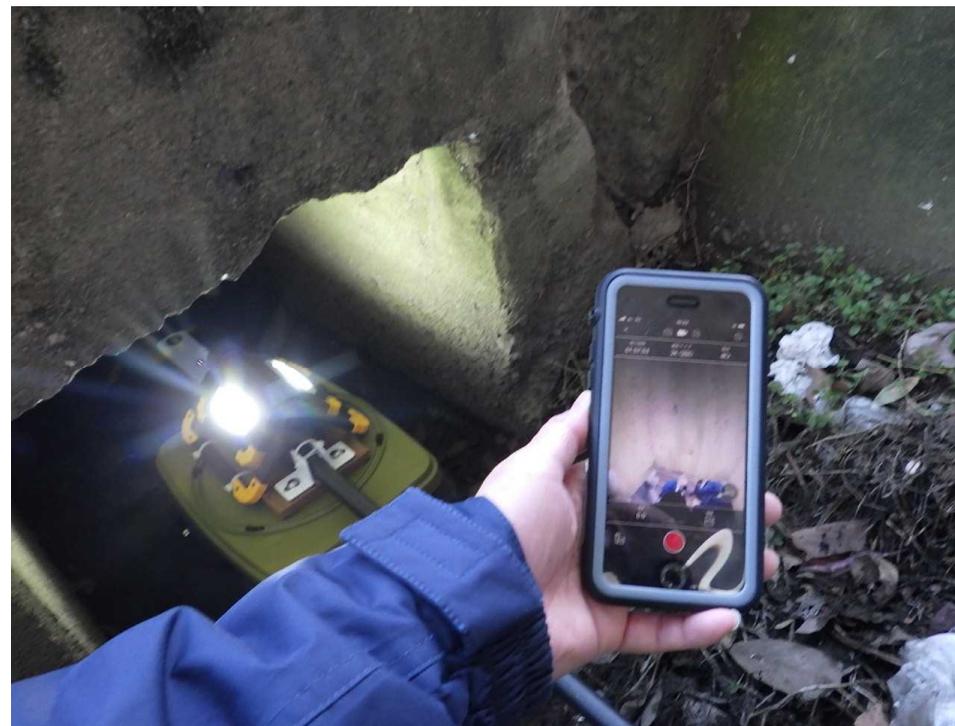
- 点検に伴う交通規制による渋滞を回避する上では常設足場の設置が有効だが、作業足場内が暗いことによる損傷の見逃しが課題であった。このため、光を通す常設足場を共同開発し、点検作業の効率化を図る
- 道路舗装の定期点検結果とAI診断結果を比較し、妥当性を評価。効率的な舗装マネジメントを実現する

[事業軸 I 国土基盤整備・保全分野] 基幹事業

④ 義務付けられる定期点検に際し、新たな技術・ソフトウェアの活用により、近接目視点検に取り組む



大型点検車を用いた橋梁定期点検(PCRW)



360°カメラを活用した構造物内部の点検(長大テック)

- 高機能大型点検車を橋梁点検に採用することで、全ての部材の近接目視点検を実施。今後も直轄国道で一部義務付けられる新技術活用業務の受注を目指す
- 360°カメラを活用し、人が入れない場所の点検を実施。維持管理のための基礎資料の作成も可能となる

[事業軸Ⅱ 環境・新エネルギー分野] 再生可能エネルギー事業

⑤ 国土交通省の取り組み、2050年カーボンニュートラルの実現と自然災害の治水機能の両立に向けた「ハイブリッドダム」業務へ参入



ハイブリッドダムで使用する水車発電機のイメージ(長大)

- 国土交通省は、2050年カーボンニュートラルに向け、治水機能の強化と水力発電の促進を両立させる「ハイブリッドダム」の取り組みを進める
- 長大では、新たに発生する水力発電工事のための実現可能性調査と詳細設計業務を担当

[事業軸Ⅲ 地域創生分野] オンデマンド交通事業

⑥ 地域交通の検討に向けた普及活動や自動運転の実証実験を行う



オンデマンド交通に関する住民学習会(順風路)



宇陀市で“奈良県内初”の公道での自動運転実証実験を実施(長大・順風路)

- 順風路では地域の公共交通に関する住民学習会に招待され講演を行う。開発したオンデマンド交通システム「コンビニクル」の仕組みや地方都市での普及状況、ライドシェアなど他の地域交通システムとの違いなどについて紹介、理解促進に貢献した
- アイサンテクノロジー株式会社、株式会社ティアフォー、損害保険ジャパン株式会社、KDDI株式会社、及び、株式会社デンソーと協力し、奈良県で自動運転の実証実験を行い、今後の実験計画を策定

[事業軸Ⅳ 海外連携展開領域]

⑦ 海外でも高い技術力を発揮し、現地での課題解決に貢献



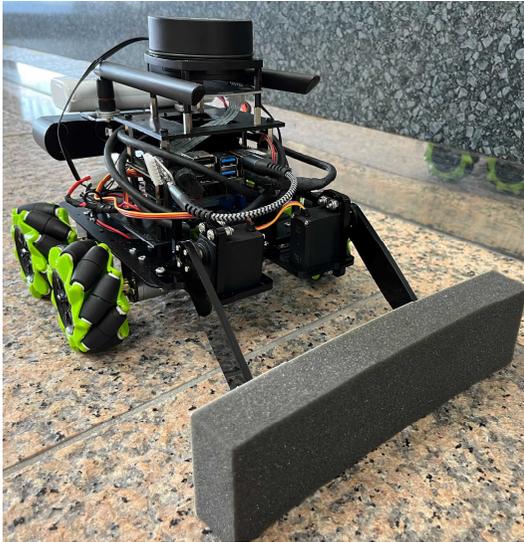
シンガポール地下鉄クロスアイランド線仮設設計業務(基礎地盤コンサルタンツ)



ベトナム国・サイゴン川に架かる歩道橋建設計画の事業化調査(長大)

- シンガポールの仮設設計業務において、工区内のシールドトンネルが森林の下を通るため、工事による森林の影響を最小限に抑える高い技術力が求められる中、2次元/3次元の高度な地盤解析技術を用いて安全で経済的な地盤設計を進める
- 歩道橋建設計画の事業化調査を受注し、「プロジェクト提案書作成」、「各段階の調査業務作成」、また、「建設や設計課題の検討及び基本設計を含む実現可能性調査報告書の作成」を行う

⑧ グループ内の業務効率化や地域全体、社会全体のDXに向けた取り組みを拡大



自動巡回ロボット(エフェクト)



グループ内DXの推進(ニックス)



「マイクロデータセンター」の提供(人夢技術)

- タイヤメーカーが課題としていたごみを定期巡回により自動収集・破棄するロボットを試作、検証を実施
- これまでのノウハウを生かし、長大のコンテンツクラウド導入支援を行うことで社内の業務効率化に貢献
- AI開発や量子計算用サーバーの設置・運用を小スペースで実現する「マイクロデータセンター」を開発し、地域に提供を開始

問い合わせ先

人・夢・技術グループ株式会社 経営戦略センター 経営企画部

電話：03-3639-3317 FAX：03-6634-6430

Mail：ir@pdt-g.co.jp

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません
- 本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません
- 本資料中の業績予想並びに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください